

JFN ASSOCIATION



ミュージックバード
<http://www.musicbird.jp>

FM 青森
<http://www.afb.co.jp>
FM 秋田
<http://www.fm-akita.co.jp>
FM 山形
<http://www.rfm.co.jp>
FM-NIIGATA
<http://www.fmnigata.com>

AIR-G (FM 北海道)
<http://www.air-g.co.jp>

FM 長野
<http://www.fmnagano.co.jp>
FM とやま
<http://www.fmtoyama.co.jp>
FM 石川
<http://hellofive.jp>
FM 福井
<http://www.fmfukui.jp>
FM 滋賀
<http://www.e-radio.co.jp>

FM 岩手
<http://www.fmito.co.jp>
FM 仙台
<http://www.dnetfm.co.jp>
ふくしま FM
<http://www.fmi.co.jp>
RADIO BERRY
<http://www.berry.co.jp>
FM GUNMA
<http://www.fmgunma.com>

FM 岡山
<http://www.fm-okayama.co.jp>
FM 山陰
<http://www.fm-sanin.co.jp>
hiroshima-fm
<http://hfmweb.jp>
FM 山口
<http://www.fmy.co.jp>

TOKYO FM
<http://www.tfm.co.jp>
JFNC
<http://www.jfn.co.jp>

FM FUKUOKA
<http://fmfukuoka.co.jp>
FM 佐賀
<http://www.fmsaga.co.jp>
FM 長崎
<http://www.fmnagasaki.co.jp>
FM 大分
<http://www.fmoita.co.jp>
FM 熊本
<http://www.fmk.fm>
FM 鹿児島
<http://www.myufm.jp>
FM 宮崎
<http://www.joyfm.co.jp>

K-mix
<http://www.k-mix.co.jp>
FM 岐阜
<http://www.radio-80.com>
@FM(FM AICHI)
<http://fma.co.jp>
FM 三重
<http://www.fmmie.jp>
FM OH!(FM OSAKA)
<http://fmosaka.net>
Kiss FM KOBE
<http://www.kiss-fm.co.jp>

FM 徳島
<http://www.fm807.jp>
FM 香川
<http://www.fmkagawa.co.jp>
FM 高知
<http://www.fmkochi.com>
FM 愛媛
<http://www.joeufm.co.jp>

FM 沖縄
<http://www.fmokinawa.co.jp>

JFN 特別加盟局
Koror, Republic of Palau96940
パラオ共和国
「エコパラダイス FM」



IPサイマル配信サービス 「ドコデモFM」は『WIZ RADIO』へ	P2	CMセミナー2017 ～誰が何と言おうと自分が面白い事を～	P11
JET STREAM 50th Anniversary Special	P4	祝・開局記念	P12
JFN賞2017	P6	セールス連携の強化	P14
EARTH×HEART LIVE2017 for Children 大仏開眼1265年慶讃	P10	TOKYO FM FM香川 TOKYO FMアースデーライブ2017 ～We Love Music, We Love the Earth～	P15
		新社長紹介	P15

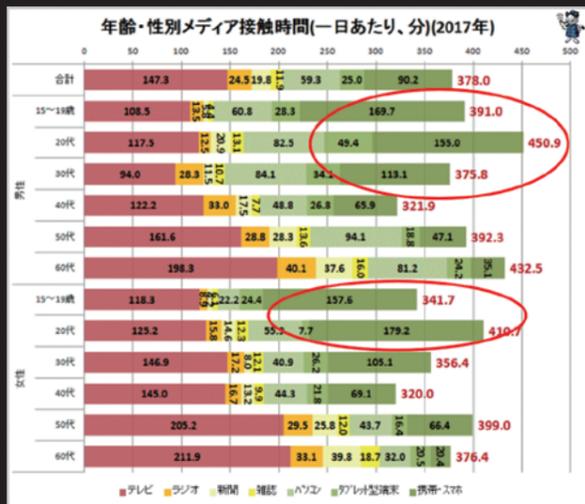
IPサイマル配信サービス 「ドコデモFM」は

WIZ RADIO

日本初のデジタル・オーディオ・アドを組み込んだ『WIZ RADIO』が間もなくスタート。

インターネットの隆盛は留まるところを知らず、メディア業界は、まさに激変のさ中に入ります。例えばスマートテレビでは、放送以外の通信サービスも初期画面に表示され、NETFLIXはリモコンに専用ボタンをつけてしまうほどで、もはやTVやラジオの中の競争ではすまなくなっている環境にあります。

メディア接触時間も、男性の10~30代と女性の10~20代では携帯・スマホがTVを抜いて最も長く、将来はますますこの差が大きくなっていくことが予測されます。



若年層の主要メディアは、テレビからインターネットへ変わったと言える。

このような状況下、インターネット広告費は急成長を続けており、マス4媒体広告費は低下傾向にあります。それは主に、インターネットでは広告を届けたいターゲットだけに露出することができる「ターゲティング広告」と、その広告に接触したターゲットがその後どういう行動をとったかを追跡できる「トラッキング」によって広告効果を数値化できる点が、広告主に評価されているからです。

メディア接触時間が低下する中、TOKYO FMではいち早く日本初のIPサイマルを2009年にスタート。以降、2011年1月から「LISMO WAVE」を、同年12月から「ドコデモFM」をスタートしました。

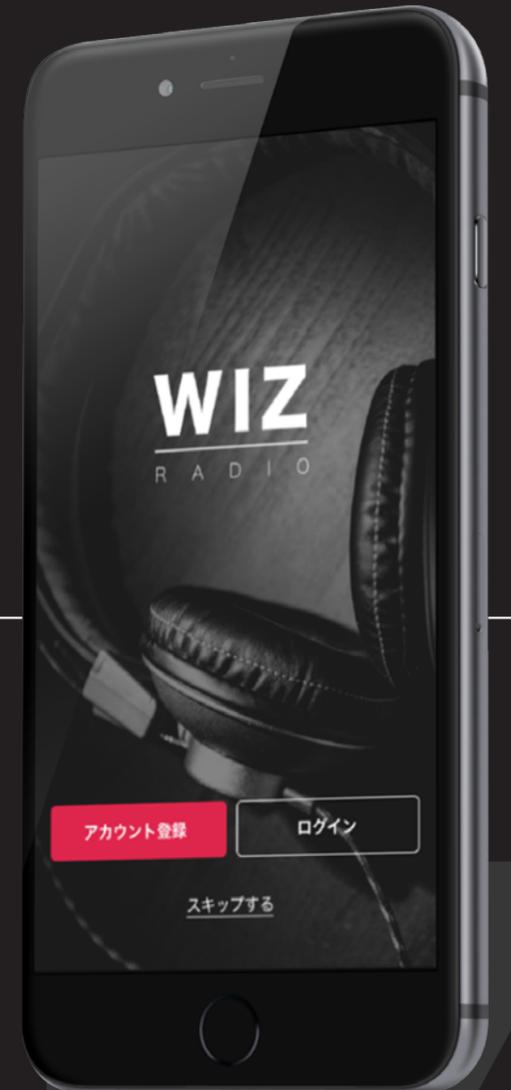
しかしながら、有料課金であるLISMO WAVEもドコデモFMもユーザー数が頭打ちとなって来たため、無料版によるユーザー拡大を検討しました。そんな中、欧米でスター



Adswizz社提供ツール。聴かれている場所・端末をリアルタイムで把握することや、聴取が伸びた時間などを分析することができる。

WIZ RADIOの特徴

- いつでも、どこでも、全国のFM番組が無料で聴ける
- リアルタイムの2Wayコミュニケーション
- ポッドキャストへのアクセスを容易に
- FM局の視聴をきっかけとした音楽視聴体験（音楽業界への貢献）



「デジタル・オーディオ・アド」の技術



ポッドキャストの場合、YouTubeと同様に、コンテンツ再生時に音声広告または音声広告+バナー広告を配信。

トしていた音声ターゲティング広告「デジタル・オーディオ・アド」に着目し、これによる収益化の研究を3年前に始めました。その際、音声ターゲティング広告の先端技術を持つアメリカのAdswizz社と業務提携契約を締結。この度、新たなIPサイマルサービス『WIZ RADIO』として来春リリースいたします。

『WIZ RADIO』は、コミュニケーション機能やプレイリスト機能、またポッドキャストなどの配信専用音声コンテンツも楽しめるよう機能を強化。M1F1層に特化したプロモーションを行ってリスナー拡大を図り、JFNの命題である「M1F1と言えばJFN」というポジショニングの明確化に寄与すると同時にインターネット広告費を獲得できるよう、様々なチャレンジを行っていきます。

「デジタル・オーディオ・アド」の技術については既に

先行して確立しており、放送の途中のCMチャンスをIPサイマル上で差替えて、ターゲットだけに音声広告を届ける「ミッドロール広告」が可能で、新たな広告商品として営業的にご活用いただけます。

各局は費用のご負担なく『WIZ RADIO』をご活用いただけますので、来春リリースされるβ版をダウンロードしていただき、実際に触れられて各々独自の活用方法をご検討いただき、トライしていただければと思います。

今後は話題のAIスピーカーやスマートカーナビなどへのプリインストールなどを図って接触機会を拡大し、ユーザー拡大を図ってまいります。JFN38局で一緒に『WIZ RADIO』を進化させていければと考えています。

TOKYO FM 常務取締役 吉田乾朗

JET STREAM

50th Anniversary Special

2017年7月3日月曜日、「JET STREAM」は番組が誕生して50周年を迎えた。「JET STREAM」の歴史は、FMというメディアが特別な社会的価値を築き上げてきた歴史である。テレビでもAMでもない、洗練された品格を身にまとうメディアとしてのFM、その象徴が「JET STREAM」である。



1967年7月3日、東海大学の実用化試験局で産声を上げたこの番組は、1970年に開局したエフエム東京に引き継がれた。FMメディアは大阪、名古屋、福岡を結ぶ4局時代を経て80~90年代の開局ラッシュののちJFN38局の全国ネットワーク網が完成したが、この背景には「JET STREAM」をフラッグシッププログラムとして日本列島全ての生活者に届けたいという強烈な想いが通底していたことは間違いない。番組の初代機長は城達也さん。67年から94年までの27年間に渡り、午前0時のコックピットから海外の都市の風景を伝えてくれた。ダンディズム溢れる低音のナレーションを包むインストゥルメンタルミュージックの数々。放送作家・堀内茂男さんの名文とともにリスナーをイメージの旅に羽ばたかせる夜間飛行は、「音像」にこだわるFMクリエイティブの原点だ。堀内さんは2008年まで真夜中の世界旅行を綴ってくれたが、都市の街角



初代機長・城達也さんの声が視聴できるコーナー

を描写するディテールへのこだわりはまさに至高の筆致で、まるで棲息する人々の息遣いまで聞こえてくるようであった。

現在は5代目機長の俳優・大沢たかおさん(2009年~)と、作家は堀内氏唯一のお弟子さんである大瀧裕史さんのコンビが歴史のバトンを受け継ぎ、毎夜優しく端正な語り口でリス



7月2日(日) 場所:六本木TOKYO MIDTOWNアトリウム
主催:TOKYO FM/日本航空
「JET STREAM 50th Anniversary Special~Invitation to DREAM FLIGHT~」

ナーに寄り添う。大沢さんは「最初の3年ぐらいは試行錯誤だった。メトロノームを買ってきて、テンポを心臓の鼓動に合わせるなどいろいろ試した」とインタビューで語っている。

50周年のテーマは「伝統」と「革新」。記念企画は4月から目白押しで、番組の代名詞ともいえるテーマ楽曲「ミスター・ロンリー」はそれまでのチェリスト溝口肇さんによる演奏バージョンから新たにバイオリニスト・古澤巖さんで新録、しかもベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の弦楽五重奏との共演というスペシャル仕立てが完成。洗練にして深遠なメロディーで真夜中の旅へリスナーを惹きこむ。7月3日(月)、50周年の夜は2時間の特別番組を一部二部構成で放送。23時からは「Road to 50th Flight~飛び続ける翼」と題し、貴重なアーカイブ音源とともに50年のクロニクルを特集。24時からは「Fly to the future~大空の間奏曲」のサブタイトルで、TOKYO FM イリスから世界で活躍する日本の気鋭のミュージシャン

たちのライブセッションを生で伝えた。前日の7月2日(日)には六本木東京ミッドタウンで、大沢たかお、溝口肇、古澤巖らが登場する記念イベントを開催。全国への公開生放送、ライブ収録がステージで展開されたほか、50年の歴史を振り返るパネル展示、高音質での番組試聴やJALキャビンアテンダント歴代の制服展示など、立体的な展開で世界観を楽しんでいただいた。

「JET STREAM」は、提供社・日本航空とともにある。1965年、わが国最初の海外パッケージプラン「JALパック」がスタート。高度成長の胎動とともに我が国の国際化を支えてきた。JALと海外旅行、そして「JET STREAM」は日本人にとっての海外への架け橋として多くの夢をのせ、そして夢をかなえてきた。機内誌『SKYWARD』7月号では、番組の機長・大沢たかおさんと、日本航空株式会社代表取締役社長で機長ご出身の植木義晴さんによる特別対談が実現。旅の魅力、若き日

放送作家 堀内 茂男氏 特別寄稿

これからは、音質の良いFM放送の時代になる。先行するアメリカの実情に通じた日本の業界の面々も、ただちに後を追う心構えだった。エフエム東京が、深夜放送に枠を広げるに当たって、日本航空をスポンサーに迎えて、新番組「JET STREAM」を立ち上げたのは、その具体例だった。

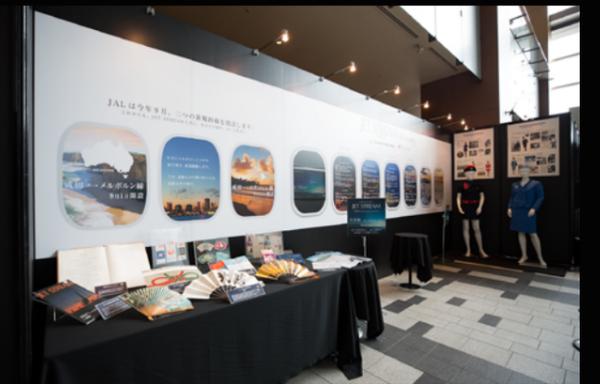
エフエム東京の筆頭プロデューサー・川島渥さんを軸に、企画集団が構成された。まず、ナレーターとして城達也さんが選ばれた。城さんは、グレゴリー・ベックの吹き替えで既に有名だった。当時、男優には低音が歓迎されていたが、城さんの音域はアルトでやや高音、都会的な雰囲気をももたし出す存在だった。

制作の第一段階はオープニングである。川島さんの腹案は、強烈

の海外への憧憬を語り合った。

11月には東京国際フォーラムで記念コンサートが実施される。「JET STREAM」は、次の半世紀に向けて歩み始めている。

TOKYO FM 取締役営業局長 村上 正光



「JET STREAM」50年の歴史を振り返る展示コーナー

なジェット機の離陸音で始め、電子音を挟んでフランク・ブルセルのミスター・ロンリーへ続け、宇宙空間へいざなうというものだった。当時、日本航空の宣伝には、タレントが揃っていた。中央公論新人賞を受賞していた伊藤酒造雄さん、後に直木賞作家になった深田裕介さん等である。

伊藤さんの筆になるオープニングの文章は、当初からリスナーの心をとらえた。同じく同氏の筆になるエンディングナレーション「ジェット機の翼に点滅するランプは、遠ざかるにつれ、星のまたたきと区別がつかなくなります。お聞きいただいておりますこの音楽が、美しくあなたの夢にとけ込んで行きますように」は、永遠に色あせることのない名文ではないでしょうか。

JFN賞 2017

今年31回目を迎えた「JFN賞2017」。その表彰式が、7月20日(木)にTOKYO FMホールで行われました。「CM大賞」には、FM GUNMA制作「FM GUNMA特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編 下村さんver.改訂」が、JFN加盟各社が制作する統一部門「いなばのタイカレー賞」には、FM宮崎の「夫婦の隠し味」が選出されました。6回目を迎える「JFN学生ラジオCMコンテスト2017」では、大阪芸術大学の松山晃大さんが最優秀賞を受賞しました。



CM部門

JFN賞・CM部門は、年間にJFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCMから選定されます。今年度はエントリー総数124本の中から、各賞が決定しました。



FM GUNMA特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編 下村さんver.改訂 (株式会社エフエム群馬 / 60秒)

FM GUNMA



@FM防災キャンペーンTo keep life「泥棒」 (株式会社エフエム愛知 / 20秒)

@FM (FM AICHI)



トイレが流してくれたもの (TOTO株式会社 / 60秒)

TOKYO FM

◆ 統一部門 いなばのタイカレー賞

「夫婦の隠し味」 (いなば食品株式会社 / 40秒)

FM宮崎

◆ 制作者審査員賞

「FM GUNMA特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編下村さんver.改訂」 (株式会社エフエム群馬 / 60秒)

FM GUNMA

◆ 弘兼憲史賞

「おききぐるしいCM」 (有明興業株式会社 / 20秒)

TOKYO FM

◆ 谷山雅計賞

「エフエム北海道 防災CM『広い』」 (株式会社エフエム北海道 / 40秒)

FM北海道

◆ 箭内道彦賞

「茂ちゃんの交通情報『雨の日運転』」 (株式会社茂山組 / 20秒)

FM岡山

◆ 奨励賞 地域ブロック賞

北海道・東北

「ワライカワセミ」 (公益財団法人盛岡市動物公園公社 / 10秒)

FM岩手

関東・甲信越・静岡

「おききぐるしいCM」 (有明興業株式会社 / 20秒)

TOKYO FM

中部・北陸

「@FM防災キャンペーンTo keep life『祝辞』」 (株式会社エフエム愛知 / 60秒)

@FM (FM AICHI)

近畿・中国・四国

「『FM OH!』ステーションネーム変更告知『3つの坂』」 (株式会社エフエム大阪 / 40秒)

FM大阪

九州・沖縄

「ずっと…は存在しない」 (竹添不動産 / 30秒)

FM鹿児島

特別審査員講評



今年の審査会は、大変珍しいことが起きました。第2部門(21秒以上)で、我々特別審査員3名とJFN38局制作者審査員の評価が、1位から4位まで全く同じでした。その後の7位までの3作品も、順位が少し違うだけでほぼ同じ評価でした。今まで20年ほど審査をしている中で、初めてこういう現象が起きました。ということは、今回の受賞作品というのは揺るぎない、皆さんが認めるような素晴らしい作品だったと感じております。

特別審査員長 弘兼憲史



今年、受賞された作品はみんな、「何を言って、何を言わないか」の選択がしっかりされていたものだと思います。広告というのは、100言いたいことがある時に100を言おうとすると、興味がない人は遮断して、伝わるものが0になってしまいます。だから、100の中の10を見つける。逆に言うと、90の言わないことを見つけるこそが広告だと、僕は思っております。来年に向けて是非、「ここは言わない、言う」という考えをいま以上に意識していただくと、皆さんがお作りになるラジオCMはどんどんレベルが上がっていくのではないかと、惜越ながら一言申し上げておきたいと思っております。

特別審査員 谷山雅計



今年の審査会は、例年以上にJFN各局制作者の方々の熱い思いに溢れた、大変実りある審査会でした。その熱い思いそのまま、ラジオの未来やCMの可能性として、強く感じることができました。これは各局の代表が、忙しい業務の中、エース級、若手の方々のこの審査会に送り込んでくださった賜物だと思います。

特別審査員 箭内道彦

JFN学生ラジオCMコンテスト2017

全国の学生が、自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN学生ラジオCMコンテスト2017」。6回目の今回は、最優秀賞に大阪芸術大学の松山晃大さん、優秀賞に東北芸術工科大学の熊谷安莉沙さん、東京工業大学の安智潤さんがそれぞれ受賞しました。当日はドレスアップした皆さんが、緊張した面持ちで表彰式に臨んでいました。

最優秀賞

松山 晃大さん



優秀賞

熊谷 安莉沙さん



優秀賞

安 智潤さん



この賞を頂いて一番うれしかったのは自分以上に周りの人が喜んでくれたことです。そういう意味では、今まで支えてくれた方々に何かひとつ恩返しができただけかなと思います。今後もこの経験を活かし、自分が目指す方向へ進んでいきたいです。

大阪芸術大学 放送学科広告コース
松山晃大

素晴らしい賞をいただきありがとうございます。文化財保存修復学科は珍しい学科ですので、存在を知ってもらえる機会をいただけて嬉しいです。CMを制作するにあたり、プロの現場に触れさせていただき大変刺激になりました。このCMを聞いて少しでも文化財の分野に興味を持てただけなら嬉しいです。

東北芸術工科大学 文化財保存修復学科
熊谷 安莉沙

偶然聞いたラジオCMでコンテストの存在を知り、制作したラジオCMが流れるということに縁を感じております。アイデアが形になっていく過程に、現場の拘りや技術力を感じさせていただきました。制作に関わってくれた方々、ありがとうございました。

東京工業大学 工学部化学工学科
安 智潤

企画部門

JFN賞・企画部門は、年間の放送・事業・営業等の活動事例の中から、JFN賞選考委員会によって選定されるものです。今年度はエントリー 29社51件の中から、各賞が決定しました。

優秀賞

@FM(FM AICHI)

タイ国際航空「TGでら夜便」サポーターズキャンペーン企画

タイ国際航空「TGでら夜便」は、深夜便ならではのリーズナブルさと利便性から、大学生が訴求ターゲットとなっていることに着目し、タイ国際航空とタイアップ。「タイの魅力」をSNSを活用して発信するというテーマを大学生チームに与え、3ヵ月間のタイ国際空港レポート活動や、タイの魅力を発見する様々な活動を通して優勝チームを決定する体験型企画である。クライアントの満足度も高く、レギュラーキャンペーンを実現した。



優秀賞

FM三重

第1回 レディオキューブ オータムフェスタ パン&ワイン de 大人の休日 ~輸入車&おしゃれ雑貨も大集合~

大人の女性が、休日のお昼をおしゃれに過ごせることを目的に、県内で人気のパン屋さんを中心に、ワインが飲める店、番組パーソナリティプロデュースの店、おしゃれ雑貨の店による出店販売に加え、世界6カ国の輸入車の展示、協賛企業ブース、フラメンコやタンゴ等、世界の音楽のステージ演奏による屋外イベントを実施。パンとワインのイベントはFMらしいお洒落なイメージがあり、来場数は12,000人にもほり、第二弾のイベントや、「パンとワインのグルメ本」を発刊することとなった。



優秀賞

JFNC

TOKYO FM、広島FM、ジャパンエフエムネットワーク 共同制作 夏休み特別企画「八月の光」

戦後71年目を迎え、広島を舞台に、原爆が投下された日とその後を描いた、朽木祥原作の短編集「八月の光・あとかた」の中から、「石の記憶」、「水の緘黙」の2作品の朗読を軸に番組を構成。「八月の光」という表題は、原爆投下による「光」のことで、被爆2世である作者が、丁寧な取材と筆致によって、実体験を戦争記録としてだけでなく、誰の心にも響く「魂の物語」として描き、それを読み聞かせというドラマ形式での番組とした。



特別賞

TOKYO FM

ミュージックドキュメント 井上陽水×ロバート キャンベル 言の葉の海に漕ぎ出して 2016年11月23日(水・祝) 19:00~20:47

日本の音楽シーンをリードしてきた歌手・井上陽水。ロバート キャンベルは、2011年の入院生活を機に、本人の許可を得て陽水の歌詞の英訳を始めたところ、「あいまいな歌詞」、「あいまいな表現」に頭を抱える事となった。二人の真剣かつユーモラスな対談を軸に、「時代と音楽」、「音楽と言葉」、「表現の本質」に迫っていく番組。朗読は三上博史で、音楽、言葉、社会が交差する新しい「大人のための知的音楽教養番組」を、ラジオならではの表現で制作した。



特別賞

K-mix

番組内における10年間の「読み聞かせ」企画の継続放送

2007年に番組取材で縁を得た「うちどく」運動に共感し発案。出版社等の協力を得て、番組内で読み聞かせコーナーをスタートした。2014年4月からは、朝の生ワイド内コーナーに組み込み、足掛け10年に亘って継続している。番組で朗読した絵本は、県下書店とタイアップしてオリジナルポスターを作成し、専門コーナーを設置している。また、番組で取り上げた絵本(年間約50冊)を、毎年1回「静岡県立こども病院」へ9年間継続して寄贈している。読み聞かせ企画の「継続」、書店との連動による「地域密着」、寄贈による「社会貢献」の好循環が評価され、県内及びメディアとして初めての「第10回高橋松之助記念 朝の読書大賞 文字・活字文化推進大賞」を受賞した。



奨励賞

広島FM

厳島神社世界遺産登録20周年特別番組 宮島×モン・サン・ミッシェル 音の旅

厳島神社が世界遺産登録20周年を迎えたことを記念して、宮島と友好都市提携を結ぶモン・サン・ミッシェル、この海に浮かぶ二つの神の島が、世界遺産としてどのような共通点を持つのか、「音楽の旅」をテーマに特別番組を制作。モン・サン・ミッシェルのミサで奏でられる、1000年以上前に初めて作られた弦楽器「シター」や、迫力がありながらも繊細な「パイプオルガン」の音色、旅感を出すために日常にあふれている音を取録し、ラジオならではの「音」を存分に活かした番組となった。



奨励賞

FM佐賀

FM佐賀特別ラジオドラマ リコー三愛グループpresents 「あけのひ、あっかいとなつ〜市村清物語〜」 第1部 創生紀/第2部 革新紀

貧しい農家に生まれながら、戦前から戦後の激動の時代に一代で「リコー三愛グループ」を築き上げ、「起業の神様」、「アイデア社長」と言われた市村清が、その生涯においてどう生き、何を考え、どんなメッセージを今の時代に残したのか、波乱万丈な人生をラジオドラマで紹介した。「あけのひ、あっかいとなつ」とは、古い佐賀弁で「翌日、雲が晴れて明るくなる」という意味で、市村清の不屈の精神とその人生を表現した。古い方言を使うことで時代背景を表すと共に、その時代の偉人や方言を大切に思い出して欲しいとの思いを込めている。



地域賞

地域賞は、各地区において地域への貢献が顕著に見られた実績に対して授与されます。今年、この5局が受賞しました!

FM仙台

all strings attached ~東北でエレキ・ギターが生まれた~



FM栃木

平成28年度文化庁委託事業 「『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」 「にほんご・しち・ご」の企画および放送



FM新潟

「ヤンの気ままにドライブ」放送10周年 「ヤン気まっぷ」の作成



FM高知

FM高知 防犯ブザー プレゼントキャンペーン



FM熊本

FMK 熊本地震復興応援プロジェクト~with~ ※毎週(日)9:45~放送中(10分プログラム)



EARTH×HEART LIVE 2017 for Children 大仏開眼1265年慶讃

会場：東大寺

開催：2017年4月9日(日)

放送：4月22日(土)19:00～21:00

FM OH!(エフエム大阪)、TOKYO FMをはじめとするJFN全国38局が、「アースコンシャス～地球を愛し、感じる心」「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながる心」を掲げ、毎年4月に実施してきた「EARTH×HEART LIVE」。28年目を迎え関西初開催となった今回は、次世代の子供たちにこの世界を引き継いでいく中で「子供たちを支える家族の想い、そして生命の尊さを人類が共に考えなければならない」というテーマを掲げ、コンサート「EARTH×HEART LIVE 2017 for Children 大仏開眼1265年慶讃」を、4月9日(日)の夜に奈良の東大寺にて開催しました。

荘厳な大仏殿をバックにした満開の桜のロケーションの中、声優・野沢雅子の「語り」からスタート。若き日本舞踊家・有馬和歌子が登場し、二胡奏者・賈鵬芳(ジャー・パンファン)らと幻想的なコラボレーションを展開しました。

続いて、公募の奈良県の小学生による合唱団が清らかな歌声を聴かせると、小柳ゆき、大黒摩季、石井竜也が、オーケストラの演奏で想いを込めて熱唱しました。

トリの世界最高峰R&Bバラードの名手ピーボ・ブライソンは、名曲「I'm With You」からスタート。小柳ゆきとはディズニー映画「美女と野獣」の主題歌「Beauty And The Beast」をデュエットで、続いて大黒摩季とのコラボでは、子供たちが続々とステージに上がるハプニングが起りながらも、全員で手を繋ぎ映画「アラジン」の主題歌の「A Whole New World」を熱唱しました。ラストは石井竜也とのデュエット。豪華コラボの連続で沸かせました。

アンコールでは出演者全員が再登場し、ベートーヴェン作曲の「喜びの歌」を、この日のテーマを全て込めた新しいアレンジで披露。感動的なフィナーレで幕を閉じました。

コンサートは、アースデーである4月22日(土)19:00～21:00にJFN全国38局で特別番組として放送し、更に「TuneIn」を通じて全世界に向けて発信しました。

FM OH! クリエイティブ本部副部長 須田 淳



左から小柳ゆき、大黒摩季、ピーボ・ブライソン、石井竜也



ピーボ・ブライソンと大黒摩季が、子供たちと「A Whole New World」を歌いました

CMセミナー2017 ～誰が何と言おうと自分が面白い事を～



左／遠山大輔氏



右／五明拓弥氏

お二人がラジオCMに携わったきっかけ

遠山「ACCグランプリ2014で、ラジオCM部門の審査委員長に電通の澤本嘉光さんがなられて、その時に審査委員をさせていただきました。その後、澤本さんが東京ガスのラジオCMの仕事を受けた時にお話をいただいて。五明は大喜利の番組とかもよく出て、得意だろうなと思ったので五明にも話を…っていうところから始まったんです」

五明「このラジオCMをやらせていただいたから、ラジオCMにはまっちゃって。地方局のラジオCMコンテストにいろいろ送り始めたんですよ」

ACCグランプリ審査委員をされて思ったこと

遠山「賞を取るために、『ああ審査員がいるからあの人の好きそうなものやってみよう』とか、それも一つの作戦だと思うんですけども、自分にとって本当に面白いものをちゃんとやるというのが、大事なかなって思います」

各局CMのボツ案を聞いて

五明「僕もいろいろなCMに応募している中でボツがあって。でもそのボツネタが、またいつか使える時が来る。だからゼロじゃない。貯金だと僕は思っているんです」

Q&A



Q:10年後、20年後、30年後のラジオはどのようになるとお考えですか。人気を維持する発想のきっかけをいただければと思います。

A:遠山「今のラジオは、誰かのご機嫌を伺う必要のない場所だと思っています。そういうところはラジオが最強だと思いますし、これからもそうありたいと思っています。また、やっていて、聴いていて、「ハラハラしたい」と思います。意図的に起こすハプニングはあざといですけど、真剣と真剣がぶつかり合った時のハラハラ・ドキドキを意識して、番組やCM、いろいろなことをやらせてもらいたいと思っています」

五明「ハラハラでいうと、『スポンサーの方を一社呼んで、そのラジオCMを生放送で作って競い、優勝したものだけ本当のCMになる』っていう企画はどうですか。どこかでやれたら面白いと思います」

講師：グランジ 遠山大輔氏 五明拓弥氏

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑いトリオ・グランジのメンバー。

遠山氏は「SCHOOL OF LOCK!」(JFN38局ネット)の2代目校長を務める。

それぞれラジオCMにも携わり、遠山氏はトヨタpresents PASSO-1 グランプリ20秒部門優勝、五明氏は第45回フジサンケイグループ広告大賞最優秀賞(2016年度)など、複数の賞を受賞。

祝・開局記念

2017年、開局記念の年を迎えた放送局は11局に及びました。

35th FM仙台

Date fm(エフエム仙台)は、今年12月1日、開局35周年を迎えます。今年掲げたテーマは、「音楽をきちんと紹介するラジオを目指す」という原点回帰。タワーレコード仙台バルコ店とコラボレーションを実施し、Date fmの各ワイド番組が店頭と連動した企画を展開。キャッチコピーは「NO MUSIC, NO Date fm!」。塩釜出身の写真家・平間至さん撮り下ろしのポスターを制作し各所に掲出、リスナーから大きな反響を得ています。



「NO MUSIC, NO Date fm!」ポスター

FM仙台 編成部長 井上 崇

35th FM愛媛

1982年2月1日全国で5番目の民間FM局として開局以来、35年間支えていただいた方々への感謝を込めて、2月5日松山市総合コミュニティセンターにて、「あの素晴らしい歌をもう一度」と題した開局35周年記念ライブイベントを開催。1980年代J-POPシーンを牽引した、杉山清貴、沢田知可子、辛島美登里にChicago Poodleを加え、彼らのヒット曲とともに、1982年のNO.1ソングメドレーもお届けしました。

約1000名の来場者にお楽しみいただき、後日放送の特別番組も含めて、大きな反響が寄せられました。



「あの素晴らしい歌をもう一度」の様子

FM愛媛 取締役営業局長 戸嶋 了一

祝開局35周年

35th AIR-G'

AIR-G'では35周年を記念して、オリジナルマスコットキャラクターを制作。高校、大学、大学院、専門学校の在校生を対象に4月より作品募集を開始し、エントリー93作品の中から、星槎道都大学3年・杉村和加菜さんの作品「べあG'」が選ばれました。テーマは「親しみが持てる」「ユーモアがある」「おしゃべり」の3点。HPでの公開投票においても圧倒的な支持を得たことにより採用に至りました。今後、HPやSNSなどに登場していきます。



新キャラクター「べあG'」

FM北海道 広報担当 春潮楼 哉子

35th 広島FM

2017年4月に平日ワイド番組を大幅改編。それに伴い、ラジオの魅力の基本に立ち返り、その魅力にあらためて出逢ってもらうためのコミュニケーションプロジェクト「MEET the RADIO」を立ち上げました。番組、イベント、web、SNS、多媒体への露出など、それぞれをリスナーとの出逢いの機会と捉え、積極的に「出逢い」を創出。新企画として社内見学とライブを組み合わせたリスナー招待企画を定期開催。また開局記念ライブの実施を予定しています。



「MEET the RADIO」ロゴ

広島FM 事業広報部長 屋形 英貴

35th FM長崎

FM長崎は2017年10月1日で開局35周年を迎えました。4月より新たに「まいにち ラジON!」をキャッチコピーとして掲げ、自社パーソナリティはもちろん、JFN系列番組のパーソナリティによる日替わりジングル。またFM長崎と縁のあるアーティストにも協力していただき、30秒の書き下ろし音楽ジングルをオンエア!リスナーからも好評を得ています。

7月には開局記念を兼ねて「NISSAN あ、安部礼司」公開収録も実施。また10月1日は長崎出身アーティスト=LAMP IN TERREN / ORANGE POST REASONによる開局記念日ライブも開催!今後も様々な周年イベントを開催予定です。



35周年記念ロゴ

FM長崎 放送部編成制作課主任 松尾 匡悟

祝開局30周年

30th FM青森

開局30周年を迎え、リスナーへ感謝の気持ちを伝えたく、4月3日には「OH! HAPPY MORNING」の青森出しと、井門宗之さんと森藤恵美さんを迎えた周年特番「RADIO DAYS」の公開生放送を実施。また7月17日・海の日には「FRIDAY GOES ON」の斉藤リョーツさんと藤井悠さんをお招きして「HOLIDAY GOES ON」の公開生放送を実施しました。県内外から多くの方が駆けつけ、皆さんの笑顔が溢れるひと時となりました。



「HOLIDAY GOES ON」公開生放送
FM青森 放送本部副本部長 佐藤 貞政

30th FM新潟

FM-NIIGATAでは、7~8月の2ヵ月間において、「開局30周年記念ステッカーキャンペーン」を実施しました。デンカビッグスワンスタジアムや焼山温泉など、県内約11会場にパーソナリティが赴き、来場されたリスナーひとりひとりに、「30周年記念デザイン」のステッカーを配布。ステッカーには初の試みとして、AR(拡張現実)を仕込み、スマートフォン上でパーソナリティ出演のオリジナルの動画を閲覧できる新たな楽しみ方を提供しました。一連の企画は、リスナー、スポンサーから高い評価をいただきました。



ステッカーキャンペーンの様子とAR動画
FM新潟 取締役営業本部長 中沢 宏至

祝開局25周年

25th FM徳島

開局25周年を迎えたFM徳島の事業テーマは「ride ON!」。開局からのステーションコンセプト「PASSION WAVE(情熱の波)」を改めてフィーチャーし、「情熱の波に乗って」を胸に挑む周年イヤー。約10時間の生放送特番を皮切りに、様々な記念事業を展開中ですが、今夏は「阿波おどり」に「エフエム徳島連」として出陣。FM徳島パーソナリティと公募のリスナー約70名、ゲストに井門宗之さんと森藤恵美さんらを迎え、最高の笑顔で盛り上がりました。秋以降も周年イベント目白押し。リスナーの目と耳、ココロを釘づけにしたまま走り続けます!



井門宗之さん(左から4番目) 森藤恵美さん(同2番目)と FM徳島パーソナリティ陣

FM徳島 営業部課長 林 健司

25th FM高知

開局25周年を迎えた今年、新たな取り組みとしてリスナー参加のカラオケ大会を開催しました。7~8月の2ヵ月間、県内3会場で全90名の出場者を迎えた大会でしたが、募集を始めて程なく定員に達する人気ぶりや、出場者の世代の広さにカラオケの持つ懐の深さを実感しました。また営業面では地元代理店とタッグを組み販売を成立。「歌は世につれ…」と言いますが、これを機に時代を映し出す企画として継続していきたいものです。



ラジオでカラオケ大会「Hi-Sixラジカラ」

FM高知 営業部課長兼東京支社長 宮尾 尚志

25th FM佐賀

開局25周年は、特番と有料ライブ、オフ会等小規模イベントが中心となります。3月にプレ特番、郷土出身実業家が主人公のドラマ「市村清物語」創世記・革新記篇各55分番組の2週放送や、人気パーソナリティ出演、レポート構成の10時間生放送を実施し、多くのリスナーから好評をいただきました。

「for your smile」をキャップレースに、サウンドロゴを周年に渡りオンエア中。FM原点回帰としてレコード盤を音源にリスナー参加特番を企画し周年を盛り上げます。



「リスナー大感謝祭～夏の陣～」の様子

FM佐賀 放送部長 北村 和博

25th FM鹿児島

1992年10月1日に開局したFM鹿児島は、今年1年間を25周年と位置づけて様々なイベント・特番などを企画、実施しています。第一弾として3月28日奄美出身のアーティストが集合して繰り広げられた「奄美フェス」を実施。出演は中孝介、カサリンチュ、城南海、そして島唄の第一人者である築地俊造もスペシャルゲストとして参加しました。最後は六調のリズムで会場が一体となって盛り上がりました。



満員の観客を集めた奄美フェスの会場

FM鹿児島 取締役放送部長 佐藤 孝



テーマ

JFNネットワークの
ポジショニングの明確化

セールス連携の強化

地元における各社の
存在感の向上

各局地元での
売上シェアの拡大

全局黒字化による
健全なネットワーク形成

「セールス連携の強化」

「せとうちDMO」と共に、瀬戸内の文化発信と活性化を図るプロジェクト

「NAGOMI Setouchi」

放送日時：毎週土曜日 TOKYO FM、FM岡山、FM山口…18:30-18:55 / Kiss FM KOBE…7:30-7:55 /
FM 愛媛…9:00-9:25 / FM 徳島…9:30-9:55 / 広島 FM…18:00-18:25 / FM 香川…19:30-19:55
提供：JR 西日本、JA 全農、日本航空

瀬戸内を囲む7県(兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県)が合同してせとうちブランドの確立による地方創生＝地域再生と成長循環を実現することを目的に発足した「せとうち DMO」(一般社団法人せとうち観光推進 機構および株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション)と、その趣旨に賛同したTOKYO FMおよびJFNが連携して瀬戸内の文化発信と活性化に向けて活動していくための拠点番組。

TOKYO FM

FM香川

シルクロードの命名者として知られる、ドイツの探検家・地理学者、フェルディナント・フォン・リヒトホーフェンは明治の初め瀬戸内を旅し「これ以上のものは、世界のどこにもないであろう」と日記に書き記しました。

そんな、世界に誇る自然美・瀬戸内海の素晴らしさを紹介する番組「NAGOMI Setouchi」。毎月1人の表現者が「旅人」となり、瀬戸内エリアの島や海、森を旅しながら瀬戸内に住む人々と交流し、そこから感じたインスピレーションを元に新たなアート作品を作り上げていく様子を伝えています。TOKYO FMと瀬戸内エリアのJFN7局ネットという新しいネットワークで放送しています。

TOKYO FM
制作部
増山 麗央

瀬戸内地域に受け継がれる人々の暮らし・営みが「癒し」というキーワードとともに注目される中、TOKYO FMと各地元局が共同制作する本番組では、各分野で活躍する表現者が「旅人」となり、それぞれの「癒し」体験を通じて瀬戸内の魅力を伝えていきます。また、「生活の場としての瀬戸内」の魅力为首都圏リスナーに伝える本番組を起点に、「移住」を切り口とした各行政へのアプローチも始まっています。TOKYO FM、地元局が互いの強みを活かした新たなセールス連携の成功事例となるべく、その動きを更に加速させていきたいと考えております。

FM香川
営業企画部グループリーダー兼東京支社長
岡内 雄司



左／3月の旅人、バイオリニストの古澤巖さん。瀬戸大橋をバックに「いい日旅立ち」を演奏してくれました。中央／6月の旅人、漫画家のヤマザキマリさんは、香川県の島々をアイランドホッピング。中でも猫がたくさん放し飼いになっている女木島がお気に入りでした。右／7月の旅人、日本文学研究者のロバート キャンベルさん(左)は、世界遺産厳島神社で俳句を読んでもらいました。



弊社から車を少し走らせると「瀬戸内海」。ひととき仕事も忘れ、癒されます…。

TOKYO FMアースデーライブ2017 - We Love Music, We Love the Earth -

一青窈、平原綾香、Crystal Kay、3人の歌姫の共演に3000人が熱狂した「アースデーライブ2017」。オープニングアクトはTOKYO FM少年合唱団、スペシャルトークセッションに野口健と盛りだくさんの構成で会場は盛り上がりました。「地球の為に何が出来るかみんなで考えて前に進んでいけるといいね」との舞台からの問いかけに、会場でも「自分のできることから始めます」「地球環境の事を考えるいいきっかけでした」など、ポジティブな反応が目立ちました。

このライブの様子は、5月4日13:00~14:50の番組にて放送。「女性3人が心を一緒にして地球に寄り添って歌った「HEAL THE WORLD」に感動した」とのメッセージが番組に寄せられました。

TOKYO FM 制作部 増山麗央



Crystal Kay(左)、一青窈(中央)、平原綾香(右)、3人の歌姫が「HEAL THE WORLD」を熱唱

新社長紹介

今年就任された新社長のみなさまが、アンケートに答えて下さいました。

- ① 出身地
- ② 生年月日
- ③ 性格
- ④ 趣味
- ⑤ 経営哲学

平田 信也 代表取締役社長



- ① 石川県加賀市
- ② 1959年8月27日
- ③ どちらかと言えば、楽道家
- ④ 読書、映画・音楽鑑賞、サッカー観戦
- ⑤ そのような大それたものはありません。が、「やってみなければ、わからぬではないか」(by直虎)の精神で、何事にも挑戦していきたいと思っています。

自局PR 日々の番組作りはもちろん、イベントなどを通して、地域に密着した、石川県民になくてはならない放送局をめざして、活動しております。

塩飽 哲文 代表取締役社長



- ① 岡山県井原市
- ② 1960年3月16日
- ③ 優柔不断
- ④ スポーツ観戦
- ⑤ リスナー、地域とともに

自局PR 8月の毎週金曜日夜、岡山後楽園の「幻想庭園」でサマーライブ。怒涛の4日間。2年後には開局20周年。

桑嶋 誠一 代表取締役社長



- ① 山形県山形市
- ② 1952年5月30日
- ③ 何とも難しい!!?
- ④ サッカー(観戦)と山登り
- ⑤ 反「Silence is Golden」

自局PR 自然に恵まれた立地で、眺望も最高。

加藤 義智 代表取締役社長



- ① 愛知県長久手市(感していませんが2017年の住みよさランキング 第3位)
- ② 1961年4月13日
- ③ 基本的には負けず嫌いですが、あきらめも早い。熱しやすく冷めやすい性格。
- ④ 読書(主に経済小説、ビジネス書)、ゴルフ(趣味とは言えませんが好きです)
- ⑤ 数字の1+1は2にしかならないが、ビジネスにおいては1に異なる1を足すと5にも10にもなる可能性がある。

自局PR 自分が入社以来変わらない、社員、パーソナリティ、スタッフの誰もがフレンドリーな社風。これが番組や営業活動を通して伝播し、地域の方々からの応援に繋がっていると感じているので、これからも企業活動の柱の一つとして活かしたいと思う。

栗原 雅和 代表取締役社長



- ① 長崎市
- ② 1955年2月18日
- ③ わりと楽天的
- ④ スポーツ観戦
- ⑤ 社員およびその家族の幸せが一番。それによっていい仕事ができる。

自局PR 地元長崎で存在感のある放送局であり続けるため、常に新しいものにチャレンジしています。